

上富良野町 町政運営推進プラン

平成31年度～35年度

1 はじめに

全国的に急速な少子高齢化・人口減少が進む中で、「地方分権」が進展するとともに、「地方創生」の時代を迎え、これからの地方自治体には、特性・個性を生かした、生き残るための取り組みを自ら考え、自ら実行していくことができる行財政力が一層強く求められています。

本町では、拡大する公共サービスの多様化や財政の硬直化など直面する課題に対応するため、平成 16 年に新行財政改革基本方針、行財政改革実施計画を策定し、本格的な行財政改革に対する具体的な取組に着手しました。

また、平成 20 年度には「上富良野町自治基本条例」を制定し、町民と行政が連携した協働のまちづくりを積極的に進めてきたほか、最小限の資力（人員・財源）により将来にわたって持続できる自主自律のまちづくりを進めるため、平成 22 年度から「町政運営改善プラン」、平成 27 年度から「町政運営実践プラン」を策定し、町民や職員の参画意識の向上、情報共有、協働体制の整備、参画機会の拡充を図る「地域協働の推進」、足腰の強い財政構造を確立するため経常経費の効率化や自主財源の確保を推進する「健全財政の維持」、組織機構の見直しや職員のスキルアップ、アウトソーシングの活用による「行政運営の見直し」の 3 項目を柱とし、それぞれの分野ごとにおいて取り組むとともに、定期的な検証のもと見直しを行いながら町政運営の効率化を図ってきました。

国内の経済情勢においては、これまでの「デフレからの早期脱却」に向けた経済対策や金融政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されていると報じられているものの、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響や相次いで発生している自然災害による下押しの影響には十分留意する必要性があり、依然として予断を許さない経済環境にあることから、地方の財源確保への影響が懸念されます。

財源の多くが地方交付税などの依存財源で賄われている地方自治体にとっては、脆弱な財政構造は依然として変わっておらず、一段と厳しい財政運営を強いられることから、引き続き行財政改革の推進が重要不可欠なものであると言えます。

本町においても、少子高齢化・人口減少は現実のものであり、社会構造や経済情勢の変化による行政ニーズは、ますます増大・多様化していくことが見込まれ、さらに厳しい行財政運営を迫られることが予想されます。

そのため、社会・経済情勢の変化に対応し、安定的かつ長期的な財政基盤を堅持するとともに、より効果的で効率的な行政を執行していくためには、行財政運営全般について常に点検・評価し、行財政改革を継続して進めていく必要があります。

2 町政運営推進プランの具体的事項

①推進期間

町政運営推進プランの計画期間は、町の最上位計画である第6次総合計画に掲げる施策を効率的・効果的に実現するため、第6次総合計画の前期基本計画に合わせ、平成31年度から平成35年度までの5年間とし、1年単位での見直しを行い、情勢に応じた柔軟性のある計画の推進に努めていきます。

②取組みの項目

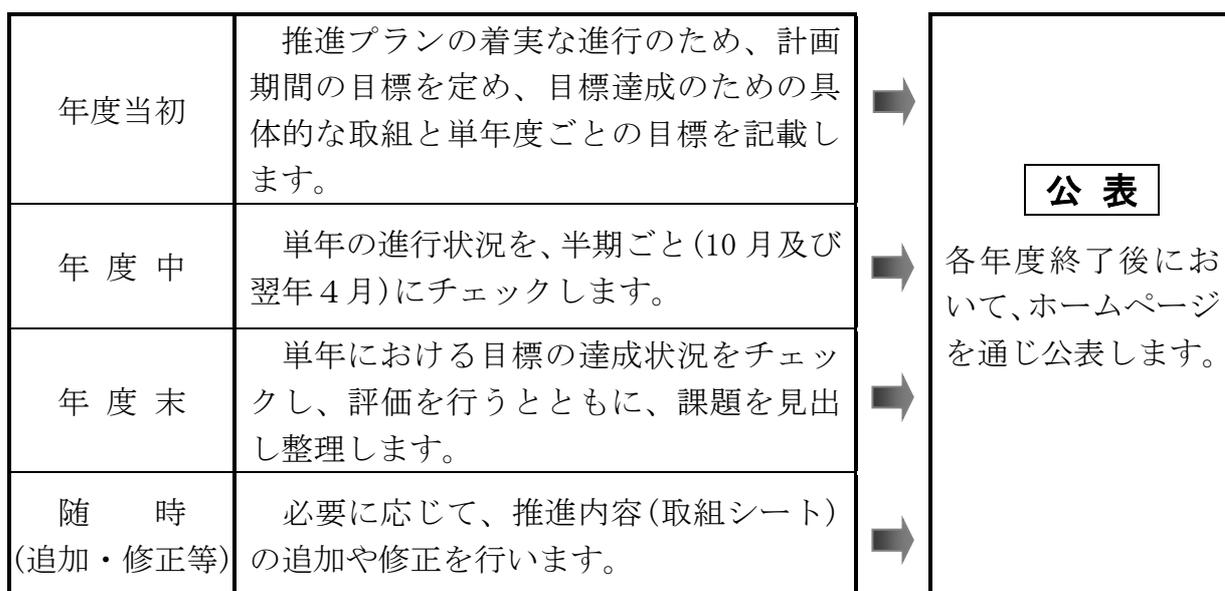
自治基本条例や第6次総合計画に掲げる自主自律のまちづくりを継続して推進するために、町民と行政がつながり力を合わせる「協働のまちづくり」と、行政運営の安定化・効率化のための「効果的な行財政運営」の2つの柱をベースとして重点的な項目を設定します。

また、各取組みの項目による長期目標と年次目標を掲げることで、すべての職員の行政運営に対する意識の醸成を図るものであります。

③推進プランの推進体制

推進プランの着実な推進のため、課長会議の中にチェック機能を果たす推進体制を整備し、進捗状況の管理と見直しを行っていきます。

また、1年単位でその進行状況をまとめ、公表していきます。



3 計画の体系					
基本項目	推進項目	取組項目	実践課【とりまとめ課】		
I 協働によるまちづくり	1 積極的な情報共有	①行政情報の公開と共有			
		(1)効果的な情報発信手法の研究実施	全課【総務課】		
		②広報・広聴活動の強化			
		(1)広報活動の強化、意見聴取手段・機会の研究・実施	町民生活課		
	2 協力体制の強化	①地域支えあいの仕組みづくり	(1)自治会組織の活動支援と連携	町民生活課 建設水道課	
			(2)まちづくり活動諸団体の活動支援と連携	町民生活課 企画商工観光課 保健福祉課 農業振興課	
			(3)自主防災組織への活動支援による地域防災力の向上	総務課	
			(4)ボランティアセンターの活動支援と連携	保健福祉課	
		②町民の参画機会の拡充	(1)各種委員等への登用状況の検証と改善	全課【総務課】	
			(2)町民のまちづくりへの参画機会の拡充	町民生活課	
II 効果的な行財政運営			1 行財政手法の検証	①創意工夫を加えた事務事業の実践	
				(1)事務事業評価に基づく検証と改善	企画商工観光課
		②健全な財政構造の維持		(1)効果的な予算編成手法の研究・実施	総務課
				(2)健全財政維持のための手法の検討	総務課
	③適正な受益者負担と自主財源の確保	(1)使用料、手数料等の見直し検討		総務課 町民生活課 保健福祉課 建設水道課	
				(2)行政サービスの制限、債権管理、徴収対策	町民生活課 保健福祉課 建設水道課
		④計画的な行政運営		(1)各個別計画の進行管理	全課【総務課】
				2 行財政運営の効率化	①職員の資質向上
	(1)職員研修の充実、コンプライアンスの徹底	総務課			
	(2)人事評価制度の適正運用	総務課			
②組織体制の強化	(1)サービス向上に向けた組織機構の検証・見直し	総務課 保健福祉課			
	③公共施設の効果的な管理運営				
(1)公共施設の有効活用と長寿命化の推進	総務課				
④情報通信技術 (ICT) の利活用	(1)マイナンバーカードの普及	町民生活課			
	(2)情報通信技術 (ICT) を活用した情報サービスの検討	全課【総務課】			
⑤民間資源の活用	(1)アウトソーシング導入の検討	総務課 保健福祉課 ラベンダーハイツ			